

(1) 【報告事項】

1 令和3年度 芦屋川カレッジ及び大学院

内容	コース名	定員	受講生数		
			男	女	計
芦屋川カレッジ第38期	日本文化コース	50	10	16	26
	世界文化コース	50	12	9	21
芦屋川カレッジ 聴講生	日本文化コース	50	17	31	48
	世界文化コース	50	21	30	51
芦屋川カレッジ 大学院第14期	ひょうごの日本遺産 めぐり	100	39	57	96

特記事項

- ・芦屋川カレッジは、募集時期が緊急事態宣言による臨時休館と重なりました。加えて、新型コロナウイルス感染拡大への不安を理由とするキャンセルも相次ぎ、例年に比べ大幅な減少となっています。
- ・聴講生及びカレッジ大学院は、定員に近い受講生を確保できています。

2 春・夏の公民館講座等の実施状況について

春の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座 「地域とともに地域を拓く」	4月10日	60	72	58	58	58
美術史講座 「美術の様々な味わい方」	全3回 4月12日、6月14日、 7月12日	60	93	71	178	42
哲学入門講座「バイオエシックス（生命倫理論）入門」	全3回 4月17日、5月29日、 6月12日	60	51	47	121	31
地域・中世史講座「芦屋の荘園・芦屋の合戦～中世前期を中心に」	全3回 4月8日、6月3日、 6月11日	60	96	70	190	52
日本近現代史講座「近代日本の『政変』-内閣が替わるとき-」	全3回 4月10日、6月5日、 7月10日	60	89	72	188	50
「文化の歴史」	全6回 4月15日、5月20日、 6月17日、7月15日 8月19日、9月16日	60	89	68	321	27
「世界はニュースだけではわからない」	全6回 4月24日、5月22日、 6月19日、7月24日、 8月21日、9月18日	60	96	71	328	24
「日本人の源流・神話を訪ねて ゆかりの地から見える神話の世界」	全3回 4月22日、5月27日、 6月24日	60	93	69	181	48

※定員を受講生が上回るのはキャンセル及びコロナの状況で調整しているため
特記事項

- ・開講記念講座では、元海文堂書店社長の島田誠氏から、地域文化創成にむけた講義を頂き、芦屋の地域文化について考えるきっかけづくりとなりました。
- ・昨年度から好評であった「美術史講座」「哲学入門講座」「文化の歴史」ほか、多くの講座で定員を上回る応募がありました。

夏季集中講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
比較文化講座 『小泉八雲と国境を越えた日本の昔物がたり』	8月9日 8月23日 8月30日	60	73	59	154	36

特記事項

・昨年度の経済講座に続き、今年度は比較文化講座を、「夏季集中講座」として企画し、定員を上回る応募を頂いています。

夏の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
音楽史へのいざない ～阪神間モダニズムの音楽 大澤壽人/貴志康一/ヨーゼフ・ラスカ～朝比奈隆	全3回 7月24日, 8月28日, 9月11日	70	75	80	181	42
続・浮世絵の魅力を読み解く ～浮世絵師たちの個性から～	全3回 7月3日, 8月21日, 9月4日	60	95	68	173	46
経済学講座 岩壺健太郎先生の「ファイナ ンス入門」	全3回 8月28日, 9月11日, 9月25日	60	48	44	115	31
ゆかりの作家シリーズ最終章 今東光 河内の毒舌和尚 折口信夫「死者の書」の謎 広岡浅子 蘇った浪花の女傑	全3回 7月8日, 8月12日, 9月9日	60	72	65	176	48
渋沢栄一と彼の生きた時代	全3回 7月1日, 8月5日, 9月2日	60	88	66	175	48
サイエンス講座 『SDGSを支える物理・化 学』	全3回 7月17日, 7月31日, 8月7日	60	64	58	149	40

特記事項

・各講座ともに定員を上回る応募となりました。特に「音楽史へのいざない」は、昨年度ドイツ音楽をテーマにして夏・冬に実施し、受講生が定着しましたので、今年度新たに「阪神間モダニズムの音楽」をテーマとして夏・冬に開催しました。

3 秋・冬の公民館講座等の実施状況について（出席者数は2月15日時点）
秋の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
開講記念講座、 朗読劇「福原残照 清盛伝」	10月15日	215	213	213	213	213
家近先生の歴史講座 明治維新をめぐる「なぜなぜ」を解き明かそう	全3回 10月14日、11月11日、12月9日	60	101	65	176	50
「大阪・京都・神戸のレトロ建築の見どころ	全3回 10月18日、11月15日、12月6日	60	87	65	173	44
哲学入門 ソクラテスとは何者なのにか	全3回 10月28日、11月25日、12月23日	60	72	64	173	47
日本近現代史講座「近代日本の『政変』-内閣が替わるとき-」(2)	全3回 10月9日、11月6日、12月11日	60	81	59	161	46
夜の美術史—絵画における光と闇	全3回 10月25日、11月22日、12月16日	60	108	66	181	50
「日本人の源流・神話を訪ねて ゆかりの地から見える神話の風景」	全3回 10月4日、11月8日、12月13日	60	98	65	174	58
「世界はニュースだけではわからない」	全6回 10月16日、11月20日、12月18日、1月15日、2月19日、3月19日	60	96	67	215	30
田辺真人先生「文化の歴史」講座	全6回 10月14日、11月18日、12月16日、1月27日、2月17日、3月17日	60	93	69	250	38

特記事項

・「歴史文化」に加え昨年度から好評の「美術史講座」など多くの講座で定員を上回る応募となりました。学問の楚「哲学入門講座」も、年数を重ね受講希望者が増加しています。

・「レトロ建築の見どころ」では、近現代建築の著作も多く、建築関係のTV出演でも馴染み深い倉方俊輔氏（大阪市立大学教授）を講師に迎え、「興味深いテーマを分かりやすく解説いただいた」と好評でした。

冬の公民館講座

講座名	回数・日時	定員	応募者数	受講者数	延べ出席者数	全回出席者数
音楽史へのいざない ～阪神間モダニズムの音楽Ⅱ	全3回 12月18日, 1月15日, 2月5日	70	88	80	未集計	未集計
浮世絵, 海を渡る ～浮世絵の魅力を読み解く3	全3回 1月8日, 2月12日, 3月5日	60	79	71	128	57
経済学講座 日本・世界経済とファイナンス	全3回 1月24日, 2月14日, 3月28日	60	78	62	62	62
芦屋再発見! 近現代文学から 谷崎が愛した芦屋、小川洋子、近現代作品	全3回 1月31日, 2月28日, 3月14日	60	76	61	61	61
時空を旅する講座 「日本古代史」について	全3回 1月13日, 2月10日, 3月10日	60	119	中止	中止	中止
サイエンス講座 「言葉を理解できるコンピューターの実現に向けて」	全3回 2月3日, 3月24日, 3月31日	60	50	44	44	44
国際政治講座 「国連と日本、そして世界」	全3回 1月22日, 2月12日, 3月12日	60	64	59	111	52

特記事項

・美術や文学などの例年定員を上回るテーマに比べ、サイエンス講座などは定員に満たない状況ですが、幅広い講座を開設し、その魅力を伝え、多様な市民ニーズに応えていきます。

・「国連と日本、そして世界」では、元国連日本代表部大使を講師に迎え、国連の裏話、緒方貞子さんの思想、SDGs が国連で生まれるまでの過程など、興味深い内容で好評でした。

4 講演会・公開セミナー

	事業名	実施日	参加人数
家庭教育セミナー	子どもの可能性を考えるセミナー	7月5日	100
親子ひろば	市民グループ「ラッキーの会」		
	人形劇を作って遊ぼう！	7月28日	30
NHK公開講演会	「伊能忠敬」	7月29日	181
平和事業	講演会 親子で学ぶ「戦争と平和」	8月5日	28
平和事業	平和を考える映画会		
	「ソローキンの見た桜」	8月12日	124
家庭教育セミナー	15歳までに大切にしたい、 大人が子どもにできること	11月12日	500
消費生活セミナー	終活（修活）人生100年 豊かに生きるためのお金の話	11月22日	32
親子ひろば	市民グループ「ラッキーの会」		
	クリスマス会・人形劇	12月11日	23
太田隆信建築講演会	芦屋市民センターと坂倉準三	1月16日	64
消費生活セミナー	いま知っておきたいお金の話	1月31日	23
NHK公開講演会	大阪中之島美術館開館記念 趙コレクション展	2月7日	248

特記事項

・太田隆信建築講演会「芦屋市民センターと坂倉準三」は、日曜日に開催しました。学術関係者をはじめ、若い世代の参加も目立ちました。常設展示「坂倉準三と芦屋市民センターの建築展」と連動させ、充実したコンテンツとなりました。

5 公民館音楽会

事業名	実施日	応募人数	参加人数
世界、音楽ひとつ飛び ～歌の翼に乗って～	10月2日	140人	70人
晩秋のジャズ	11月13日	165人	70人
芦屋の古楽の源流をたずねて ～原田宿命の愛したダンスたち～	12月11日	144人	78人

特記事項

- ・公民館音楽会では、芦屋市出身、または在住、在勤のアーティストを起用しています。演者を身近な存在として感じられることが、温かく和やかな雰囲気の出に役立っています。また、内容についても、地場の音楽文化の活性化をねらいとしています。
- ・常設展示と連動させた～原田宿命の愛したダンスたち～では、古楽器とダンスを解説つきで鑑賞する稀少な機会を提供できました。

6 常設展示（公民館3階展示場にて公民館が主催）

竹久夢二のセノオ楽譜展	8月6日～8月22日
芦屋のペット、大集合写真展	9月23日～9月30日
生誕100年 芦屋の古楽の源流をたずねて ～原田宿命の愛したダンス展～	12月2日～12月19日
坂倉準三と芦屋市民センターの建築展	12月23日～1月21日
あしや写真展	12月23日～1月21日

特記事項

- ・「生誕100年 芦屋の古楽の源流をたずねて ～原田宿命の愛したダンス展～」は、芦屋市を拠点に、国内でいち早くヨーロッパの歴史的な舞踊を研究し、フランスの歌謡や舞踊を通して国際交流に寄与した功績のある、原田宿命氏を顕彰する目的で開催しました。具体の展示内容は、原田宿命氏が所蔵された舞踊に関する書籍、ルネサンスダンスやバロックダンスの衣装、著書の挿画原画など豪華なものとなり、展示場を通る多くの市民の視線を集めました。
- ・「坂倉準三と芦屋市民センターの建築展」では、市民会館が建設された1963年以降の芦屋市民センターの歴史を、ルナ・ホール、公民館を含めた写真資料や設計図面、当時の広報紙の記事などで振り返りました。同時に、設計者である建築家、坂倉準三氏についても、国立近現代建築資料館（東京）に収蔵されているデジタルデータを展示しました。
- ・あしや写真展でも、3名から総数12枚の提供を受けた芦屋市民センターの歴史的な写真や、芦屋市民センターの写真が掲載された3冊の建築雑誌を展示するなど、今年度も新しい座組の構築に挑戦しました。

7 公民館ギャラリー（公民館3階展示場にて以下の9グループが主催）

あしやYO写楽会写楽展	4月14日～4月19日
魔法の手	6月30日～7月5日
写楽の会	7月7日～7月12日
学校教育課「芦屋市学校給食展」	7月28日～8月2日
淡遊会	8月25日～8月30日
陶芸きりん作品展	10月1日～10月7日
郵趣会 世界の切手展	11月12日～11月15日
コミスク展	11月18日～11月22日
MOA 子ども作品展	11月26日～11月28日

特記事項

・市民センターがワクチン接種会場となった関係で、市民絵画展（小作品展）や市民ギャラリーを展示場で実施し、コロナ禍でも開催方法を工夫して実施できた事を喜んで頂きました。また、学校教育課主催の「芦屋市学校給食展」も、子ども達からの食に関わる様々な人々への感謝が伝わる内容で好評でした。

・常設展示を含め、公民館3階展示場の稼働率は高く推移しました。

※市民絵画展：9月8日～9月12日に市民から出品のあった39点を展示
(278名来館)

※市民ギャラリー：10月9日～11月6日に5つの市民グループが絵画等を展示
(651名来館)

8 夏休み子ども教室

・例年人気のワークショッププログラムに加え、今年度は体験・体感を目的とした日本舞踊や能楽、さらに茶道などの和文化体験プログラムを拡充しました。

・職業体験や教養講座、また親子で学ぶシリーズ企画として、介護教室や防災学習、マネー教室を実施するなど、新しいコンテンツも充実させました。

講座名	募集人員	応募者数	受講者数
① 和文化体験 山村先生 浴衣の着付け教室	10	32	12
② 和文化体験 親子で、茶道体験	10	80	13
③ 親子でエクササイズ 脳を活性化する歩き方講座	15	14	14
④ 子ども写真教室 写メラマン講座	20	40	30
⑤ 歌の教室 手回しオルゴールとともに	30	16	16
⑥ ワークショップ みんなで楽しくバルーン教室	20	87	30
⑦ ワークショップ 親子で学ぶ収納学	20	37	30
⑧ 「おもしろ顔アイシングクッキーを作ろう」午前の部	15	149	17

⑨ 「おもしろ顔アイシングクッキーを作ろう」 午後の部	15	—	17
⑩ 職業体験 介護のお仕事 ワークショップ	20	28	28
⑪ 和文化体験 能楽ワークショップ	15	21	18
⑫ 親子でエクササイズ ヨガ・ストレッチ講座	15	36	20
⑬ 親子で学ぶ 防災ワークショップ	20	24	24
⑭ 土居由紀子先生の親子で学ぶ「マネー講座」 午前の部	20	35	30
⑮ 土居由紀子先生の親子で学ぶ「マネー講座」 午後の部	20	17	17

特記事項

・夏休み子ども教室の案内は、毎年、芦屋市立の各小学校に配布しています。今年度より、申込方法を、「往復ハガキ」から「QRコード読み取りによるインターネットでの申込」に変更した結果、昨年比 5 倍増の 616 件の申し込みがありました。

9. にほんごがっきゅう

講座名	回数	実績
にほんごがっきゅう	全 26 回 毎週木曜日	11 名受講

特記事項

・前年度に続き、受講生の環境によって、スカイプやライン電話も併用しました。例年、受講生と講師の親睦を深めるべく実施していた、食事会などは見合わせましたが、感染対策を徹底した上で、ハイキングを行うなど、今年度もコミュニケーションの方法を工夫しながら開催しました。（ハイキングは 11 月 11 日実施、奥池にて講師・受講生合せて 16 名の参加がありました。）

10 令和3年度 阪神青い鳥学級 芦屋教室

(1) 概要 芦屋市、西宮市、尼崎市に在住の視覚障がいをお持ちの人が対象の教室です。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、昨年度は実施が見送られたため、今年度も引き続き芦屋市が当番市を務めました。社会福祉協議会とも連携し、ワークショップや社会見学、芦屋らしい文化度の高いコンテンツを盛り込んだ芸術発表会と、市内ボランティアグループの協力で無事に終えることができました。

(2) 内容 【体験】【社会見学】【芸術文化】

10月 ワークショップ

参加者 全16名 芦屋市6名、西宮市5名、尼崎市5名

11月 神戸市立王子動物園

参加者 全12名 芦屋市2名、西宮市5名、尼崎市5名

12月 青い鳥芦屋教室文化祭

参加者 全13名 芦屋市5名、西宮市4名、尼崎市4名

11 令和3年度 阪神くすの木学級 伊丹学級

(1) 概要 阪神間の7市1町(芦屋市、西宮市、尼崎市、伊丹市、川西市、宝塚市、三田市、猪名川町)に在住の聴覚・言語障がいをお持ちの人が対象の教室です。今年度は伊丹市が当番市を務めました。新型コロナウイルス感染症への懸念から、芦屋市からの参加はありませんでした。

(2) 内容 日時 11月7日
会場 伊丹市立図書館ことば蔵(伊丹市内)